

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月22日

事業所名 児童発達支援事業所 あのね

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		多目的ホールや個別スペース等十分な広さの活動スペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		正規職員保育士2名、児童指導員1名、非常勤保育士2名、その他非常勤1名となっている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		床もフラットになっており、トイレ洗面所も小さい児童用に低く使いやすいようになっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動場所は1面フラットでどこからも見えるようになっており、心地よく過ごせる環境になっている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		一年間の目標を立て、振り返りシートに1年間の自分の振り返りを行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者会等も行いながら保護者の意見を十分に把握しながら改善があればその都度改善している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		社会福祉法人全体で第三者外部の評価を行って改善があれば改善に努めている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人全体の会議・研修・外部研修等を確保しながら全員が幅広い研修に参加できるようになっている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保育所等訪問支援事業も展開している為、保育園、保護者を含め各関係機関とも相談しながら必ずケース会議等を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保育士が子ども園の先生方と情報共有を図って意見交換を行いながら取り組んでいる	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		法人全体で共有できるところや、同じ法人内にある児童家庭支援センターつながりとも協力しながら、「子ども、家庭、地域」に密着した支援内容を展開している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画の中には必ず子ども園の先生や保護者様の意見を反映させている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎週1回必ず会議を行い、毎月の行事、活動の内容を話し合う場を設けている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとの行事等を話し合う場を設け、固定化しないように毎週必ず話し合いを行っている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別支援や小集団活動を午前、午後と組み合わせながら子どもの状況に応じて計画を作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼等で送迎、学校の様子、子ども園の様子等を話し合い、その日の状況等を確認し合っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録を作成する際は、一人で作成せず、振り返りを行いながら保護者へその日の活動記録を写真をつけて送付している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		上記同じ	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングは定期的に、家庭訪問や電話等で行い、子ども園、保護者、母親、父親、祖父母が関わっている所は祖父母などからも意見をもらっている	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議は保育士、児発菅等が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センターや基幹センター、児童相談所や、児童家庭支援センター等とも連携しながら家庭環境の把握、家庭訪問等を行い、母親支援等にも力を入れている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的ケアは行っていません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアは行っていません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援の場合は必ず、その子が通っている子ども園や学校で行い、関係している先生を含めて情報共有を行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		上記同じ
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関とは情報共有を行っており、時々ZOOM等で研修等も行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童養護施設に隣接していたり、近くの保育園等の児童が公園で遊んでいたりと敷地内の広場を地域に開放している為、沢山の児童と異年齢交流等を行っている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		毎月定期的に協議会や地域の子育て会議等へ積極的に参加し情報共有を図っている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日保護者へ活動記録を伝え、メールや電話でのやりとりを行いながら共通理解を深めている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者に対して家族支援プログラムを提案しているが、なかなか保護者様の反応が薄い状況等がある為難しい課題ではあると考えている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		必ず担当者会議等で説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画書等は全て保護者様が自分のマイページで閲覧できるようになっており同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からは常に相談等があり、メールや対面で応じているが、専門的な心理師もいる為、時間を設けて助言や支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会は年1回開催しており、保護者同士の連携や連絡交換等を行っている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談等があれば、その都度、保育園や学校からも情報をもらいながら、場合によっては学校や子ども園等に出向いて相談員さんを含めケース会議等を行っている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月管理表やおたよりを発行し、保護者に対して情報を発信している。また、SNSなどを通じて情報を発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の取り扱いに関しては同意書を頂き、十分に注意している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		家庭訪問等を行い、複数の職員、相談員さんなどを含め言ったの言わないのにならないように記録をとりながら情報伝達をしている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域開放をしている為、クリスマス会や餅つき等地域住民との連携を図っている

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		消防署職員立ち合いの元、計画通りに訓練を実施している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な避難訓練を実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬等があれば服薬表を保護者に提出してもらい、病気等があればその都度事前に確認をとっている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用事前に食物アレルギーの対応があれば聞き取りを行っている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットがあれば、書面を作成し共有し職員会議等で幅広く情報共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		同じ法人に児童養護施設がある為、定期的に虐待防止の研修に参加している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		基本的に身体拘束は行わないことにしているが、やむを得ずその場面があれば保護者にアセスメント時に聞いて、理解を求めているが、事業所内で何か暴れたり、問題行動があればすぐに迎えに来てもらうようにしている。